

YMCA

K U M A M O T O

NEWS

YMCA January 2011
vol.464

1

基本聖句 喜ぶ人と共に喜び、
泣く人と共に泣きなさい
(ローマの信徒への手紙第12章15節)

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 地球環境の保全 生涯学習の推進
ウエルネス活動 ボランティア活動 平和な世界

■ホームページ www.kumamoto-ymca.or.jp
■ブログ kumamoto-ymca.wablog.com
■メールマガジン登録
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi



●発行所/ (財) 熊本YMCA / 〒860-8739 熊本市新町1-3-8 TEL096-353-6397代
●編集人/ 堤 雄二 ●発行人/ 堤 弘雄 2011年1月1日発行(毎月1日発行)
1984年8月15日第3種郵便物認可 定価60円(送料60円)

CONTENTS

- 1 会長メッセージ 吉本貞一郎さん
- 2 国際協力青少年育成年末街頭募金
YMCA学院海外研修
- 3 市民クリスマス講演の夕べ/熊本・大邱役員協議会
アガペNo.58「信じること祈ること」
event report
クリスマス祝会/クリスマスプレゼント 施設訪問
- 4 Message YMCA出身東大Jリーガー 久木田紳吾さん
YMCA NETWORK (地域YMCA情報)
中央YMCA/みなみYMCA/東部YMCA

世界の人々と喜びや悲しみを 分かち合う社会へ向けて

あけましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。また、日頃よりYMCA活動にご協力をいただき感謝申し上げます。世界経済はリーマンショックからの回復を進めているようですが、就職難に代表される雇用情勢は依然日本経済の不透明感を表しています。2011年は皆様にとりまして素晴らしい年となりますように願っております。

さて、熊本YMCAは2010年度より2012年度まで、新たな中期計画「共に生きる社会づくり3カ年運動」を展開しています。現代の人々が抱える様々な課題の解決に向けて各地域YMCAがボランティアである会員の力で取り組もうと(子どもたちの人格形成(支え合うコミュニティ)の創出(地球市民の育成)という3つの方針を掲げて活動を開始しました。

これらの3カ年計画を実現することにより、人が出会い、交わることを通じて人間性の回復を図り、基本聖句「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマの信徒への手紙12章15



熊本YMCA会長
吉本貞一郎



Y11アジア運動推進のため、総主事の堤さんが視察訪問したミャンマー・モカウン。写真はエイズで親を亡くし祖母と暮らす子ども

節)にあるように地域社会や世界の人々が互いに喜びや悲しみを共有できる、共に生きる社会への創出に努めていきます。これらの取り組みは会員運動と位置づけられ、各地域YMCA、YMCA学院、幼稚園・保育園およびリフレスおおむたで委員を中心に企画・立案され、多くのボランティアの力を結集しながら実行に移されます。

現在、熊本YMCAの法律上の一つの組織である財団法人が、新公益法人制度への改組を目指して申請を行っています。もちろん、熊本YMCAが行っておりますすべての事業や活動は公益に資するものであり、「熊本YMCAの使命」を実現するために行われています。そして、今回の法律改定は、私たち熊本YMCAにとりまして、今一度、自らのアイデンティティーを確認する機会だと考えております。YMCA運動に

よって涵養される文化を熊本の地に広げ、次の世代に伝えて参りましょう。

YMCA運動を支えていただいているのは、ボランティアの皆様であり、プログラムに参加いただいております地域の皆様です。ぜひ、熊本YMCAの使命をご理解いただき、今後も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、旧年を振り返りますと皆様のご協力でもり多い活動を行うことができました。企業人のボランティアを推進するフィランソロピー協会は15周年を迎え、児童養護施設の子どもたちとの交流や、チャリティ大駅伝大会の企画運営、その益金により病院等で過ごす子どもたちへのクリスマスプレゼントと活発な活動が行われました。ミュージカルY!は韓国を訪問し、金泉YMCAや大邱YMCAとの交流の中で公演を行いました。また、7月に香港で開催された世界YMCA大会には、熊本大学YMCAをはじめユースリーダーやスタッフが参加しました。日本と海外の青少年が共に活動を通して理解し合う機会は、彼らの今後の人生にとって大変有意義なものとなったようです。

8月の委員交流会では、新たに「ワールド・カフェ」という手法を取り入れ、熊本YMCAについて忌憚のない意見が交換されました。今年1月に開催されます常議員・委員一泊研修会にて、それを深め、より良いYMCAへと導いていただけないでしょうか。韓国大邱YMCA

わたしと聖句

詩編第121編8節

あなたの出で立つのも帰るのも主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。

神の守り

この聖句は、23年前私が日本に来る時、教会の牧師がくれたものです。当時私は初めての出国、しかも一人、未知の地で新しい歩みを始めることに、大変不安と寂しさを感じていました。

た。だから、この聖句を読んでは、「ああ、私は一人ぼっちではなく、神様がずっと共におられ、私を守ってくださいなのだ」と深く心に響き、励まされたのです。

神様に守られたと言っても、私の希望どおりにすべてが進んだわけではありません。むしろ、辛いことをたくさん経験しました。しかし、神の守りは確実です。それは、幼い子が歩きを学ぶことに例えられます。親はその子から少し離れ、子を見つめて歩かせ、助けてあげるでしょう。しかし、子はその時、孤独に思うのでは、と私は常に興味深く思います。そう考えると、私は神の守りを理解しやすくなりました。聖書の旧約時代のユダヤ人も、多くの苦難を経験しても、なお神の見守りを強く信じていました。なぜなら、神の約束は真実であることを、ユダヤ人は身をもって体験したからです。

大人になっても、孤独を感じる場合が多くあります。その時、神様に守られていることを覚えておきたいと思えます。昔のユダヤ人の体験も、今の私も、神の守りを味わったのだから。

九州ルーテル学院大学チャプレン
黄 大衛

*地球市民とは、地球的視野に立って考え、行動する人。地球環境や平和などの課題を自らの現実の問題として捉え、自分の選択が影響を与えるという意識と責任感を持って行動する市民。